脂肪肝 早期発見・治療サポート

#MASLD/MASHとは?治療について

当院ではMASHの治療薬、ウゴービ®を採用しました。



MASLDとは?

飲酒による脂肪肝はアルコール性脂肪肝といいますが、これに対し、お酒を飲まないのに発症する脂肪肝を**非アルコール性脂肪肝**(以下MASLD)といいます。

MASLDの主な診断基準

1. 肝臓に脂肪がたまっている
2. 目立った飲酒習慣がない
3. 脂肪肝をきたす他の原因がない
4. B型・C型肝炎ではない



お酒を飲まないのに脂肪肝になることも…

稀に薬剤、手術、ホルモン異常が原因となることもありますが、ほとんどが生活習慣の乱れや内臓肥満、ストレス、運動不足が原因です。

MASLDからMASHへ

肝臓で炎症が起こり、さらに硬くなる「線維化」という現象が起きます。これが**非アルコール性脂肪肝炎**(以下MASH)です。



脂肪肝(MASLD)	MASH	肝硬変・肝がん
肝臓に脂肪がたまる	炎症が起こり線維化が進む	さらに進行すると肝硬変や肝がんに

現在、国内には推定で**1,000万人～2,000万人**のMASLD患者がいると考えられ、そのうち**100万人～200万人**がMASHに進展すると言われています。

放置すると10年後には約1～2割が肝硬変となり、そのうち数%に肝細胞がんが発生します。

脂肪肝が原因で発生する脂肪肝炎・肝硬変・肝がんを防ぐために、「脂肪肝」の段階で放置しないで治すことが大切です。

健康診断でこんな結果はありませんか?



- ALTが30を超えていませんか?
  (基準値:30以下が目安です)
- AST・γ-GTPも高くありませんか?
- 中性脂肪やコレステロールが高くありませんか?
- 体重増加やお腹まわりの脂肪が気になりませんか?

健康診断で異常を指摘された方は、早めに医師にご相談ください。

当院でできる検査

当院は、福岡県肝疾患専門医療機関でもあり、肝臓の線維化を予測する「Fib-4 index」や線維化マーカーも当日に検査できます。

- ☑ **血液検査**(M2BPGi など)
- ☑ **超音波検査**(シェアウェーブ)



シェアウェーブで肝臓の硬さを測定できます。

ウゴービ®によるMASH治療



これまでウゴービ®皮下注(一般名:セマグルチド)の保険適用は、肥満症のみでしたが、2026年6月に「代謝機能障害関連脂肪肝炎(MASH)」が新たに追加され、肝臓の線維化が進んだ一部のMASH患者さんに対して、治療薬として使用できるようになりました。

これは当院でも採用することになり、今まで、運動療法や食事療法だけしかなかったのが、対象患者には治療ができるようになりました。

日頃の食事のことでお悩みの方へ

当院の管理栄養士による栄養指導もおこなえます。

食生活の見直しや、無理のない食事の改善について一緒に考えていきます。



食事の見直しから





柳病院では八女筑後地域における脂肪肝・MASHなどの治療を推進しています。

気になる方は、ぜひ当院にご相談ください。

医療法人 柳育会
柳病院